

今後の検討の進め方について（案）

1. 今後の検討の進め方について

①資料 2－3 別紙の「今後の検討について（案）」において掲げた論点のうち、次の内容の論点については、第 3 回検討会で（必要に応じ第 4 回でも）重点的に御議論いただくこととしてはどうか。（※【】内の数字は資料 2－3 別紙中の区分番号）

- ・生物を用いた水環境の評価・管理手法の目的、意義等に関する論点【1－2】
- ・今後（今年度）のパイロット事業の実施方針に関する技術的事項【2－1、2－2、2－3】
- ・試験実施等に係るコストに関する論点【2－4】

②議論を深めるために、パイロット事業の実施等を通じて具体的な事例における課題等に関する追加的な情報を得ることが必要と考えられる次の論点については、今年度のパイロット事業の実施後に、その結果等も踏まえ、本格的な議論に入ることはどうか。

- ・生物応答を用いた排水の評価・管理の有効性、排水改善方策等に関する論点【1－3、3－2、3－5】
- ・関係者の理解促進に関する論点【3－3】
- ・取組の位置付け等に関する論点【3－1】

③上記以外の論点【3－4. 公共用水域を対象とした生物応答試験】については、事務局で文献調査などにより追加の情報収集を行い、その状況を踏まえ、今後の検討会で改めて御議論いただくこととしてはどうか。

2. スケジュール（※今秋以降のスケジュールは、パイロット事業の状況等踏まえ随時検討）

○7月12日（本日） 第2回検討会

○7月22日 第3回検討会

- ・1. ①に係る論点について
- ・パイロット事業の実施方針について

○8月22日 第4回検討会

- （・必要に応じ、1. ①に係る論点に関する議論を引き続き行う）
- ・パイロット事業の実施方針について
- ・今後の検討課題及び検討の進め方について

○8～9月頃　パイロット事業に係る公募（1ヶ月程度）

○9～12月頃　平成28年度パイロット事業実施

○12月頃以降

- ・パイロット事業の実施状況を踏まえ、1. ①に係る論点について、再度議論
- ・1. ②及び③に係る論点について議論（特に、生物応答を用いた排水の評価・管理の有効性、排水改善方策等に関する論点、関係者の理解促進に関する論点、公共用水域を対象とした生物応答試験に関する論点等）
- ・上記の議論を踏まえ、WET手法を用いる場合の評価・管理手法の基本的な考え方を整理していく

（パイロット事業は複数年度の実施を想定。）